様式３

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム　グリーンロード	施設番号	K－228

項目	評価結果に基づく現状分析（令和４年度）	改善計画（令和４年度末時点）	実施状況（予定を含む）（令和５年４月 30 日時点）	左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況（　　年４月 30 日時点）
新たなミーティングの場の設定や確実な情報伝達を検討することが望まれる　について	各職員から運営部門への疑問や意見等の提起方法も、組織の形式的な体制だけでは改善へ反映されるのに時間がかかる。職員間での情報共有についても現場業務が十分に効率化されていない状況下では、改善へとつながる形に意見集約されることが期待できない。	本年度4月より設置した人事労務課で、職員の労務状況の把握を進める。 特に職員数が多く、シフトのために職員同士が会う機会に少ない介護課において、効率のよい情報共有と集約の体制を整える。	(1 実施済み)（丸印） １ 実施済み ２ 実施予定 （　　年　月ごろ） 具体的には以下の通りです。 ・介護課のリーダ・副リーダを複数名任命とリーダ会議の実施。 ・介護課シフトの整備	１ 実施済み （　　年　月） 具体的には以下のとおりです。
新たな理念を職員に周知しりかいを深めるための取組を日常の中でも折に触れて行なうとよい　について	現場の具体的な業務改善策の構想・決定事項の案件が多くあり、根幹的な議論をする余裕がなく、新たな理念への目配りが不足している。	中長期事業計画の内容と進捗を、運営会議で定期的に確認する。各施策について、新たな理念に基づいた提案を心掛ける。解決が必要な日々の具体的案件についても、新たな理念から引き下ろして、目指す施設のイメージを共有しながら、各職員間での議論が進むようにする。	１ 実施済み（丸印） ２ 実施予定 （　　年　月ごろ） 具体的には以下の通りです。 ・新人オリエンテーションにおける理念の説明。 ・各議事における新たな理念の意識的な確認。	１ 実施済み （　　年　月） 具体的には以下のとおりです。
ﾋﾔﾘ・ﾊｯﾄ事例を多く積み上げることで職員の危険予測の感度を高めるとよい　について	現場業務の煩雑さから、記録業務が疎かになる場合がある。	ﾋﾔﾘ・ﾊｯﾄ事例収集の意義を事故防止委員会を中心に職員間で啓蒙する。記録業務の効率化と容易化をはかり、その場ですぐに記録できるための電子記録環境を整備する。	１ 実施済み（丸印） ２ 実施予定 （　S　年　月ごろ） 具体的には以下の通りです。。 ・施設内のネットワーク環境の整備。 ・介護ソフトの活用による、記録業務の徹底と情報共有の効率化。	１ 実施済み （　　年　月） 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。